

今まで事業所から出る廃プラスチックを一般廃棄物として処理していたが、産業廃棄物として受け入れを停止する市町村が全国的に増えている。自治体にとっではごみ減量の効果的な施策だ。しかし、市場に出たこれらの産業廃棄物は新たな受け皿が必要になる。

島根県で一廃・産廃の収集運搬・中間処理を手掛けるアースサポート

アースサポート

みなし一廃の産廃化推進

排出者責任をサポート



アースサポートの本社

別排出してもらおうよう話を進めている。産廃として排出されたものは、各顧客との間に契約書を作成し、マニフェストも使用する。産廃化したものは、自社の中間処理施設に搬入し、処理

だ。それに見合った料金設定にすることで顧客も納得感が得られる。松江市からも高い評価を得ている。一般廃棄物収集運搬業を松江市内で営む他社にも声をかけ、連携する形で、自社の中間処理施設に搬入してもらうよう依頼している。

時代の流れとともに

スサポート（島根県松江市）は、事業系ごみに混入する廃プラスチックなど産業廃棄物を事業者が分

する。アースサポートの本社が所在する松江市のごみ処理料金は1トン当たり15円

に変化する廃棄物行政に対応したモデルケースとなっている。